

ほんべつ

議会だより

No.48

平成21年2月1日発行



みんな並んでハイ“チーズ”

篠原牧場（美里別東上）撮影：本別カメラクラブ

第4回定例会

本別町犯罪被害者等支援条例の制定等を可決

平成20年第4回定例会は12月9日に開会し、一般質問のほか本別町使用料条例の一部改正、一般会計他8会計の補正予算などを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

条例

犯罪被害者等支援条例制定

この条例は、犯罪などが発生した場合に、その犯罪被害者へ、住宅、就業支援、安全確保などを支援するための基本となる事項を定めています。

犯罪によって受けた被害等の軽減、及び回復に資することを目的とする条例制定に対する質疑。

単独の条例を制定するのは、道内で初めてです。

問
①個人情報にも



犯罪被害者等支援連絡会議の担当窓口（保健福祉課）

留意しなければならないが、役場内体制と相談窓口は。

②公営住宅等の確保の状況は。

答

①庁内に関係部局で構成する犯罪被害者等支援連絡会議を設置し、それぞれの状況に応じ非公開により協議します。

また、町と本別警察署の間で協定を結びながら、慎重に進めていきたいと考えています。窓口は、支援会議の事務局も兼ねて、保健福祉課社会福祉担当と考えています。

②公営住宅への入居優先順位を定める規則改正を行う予定です。

また、旧教員住宅も含めて、多目的に利用している住宅を一時的に利用するなど、現在1戸を確保しています。

一般会計補正

公営住宅整備事業

栄町公営住宅の建て替え計画は、平成27年までに130戸を解体し、68戸の建設が予定されています。21年度に予定していた住宅建て替え分は、地域の経済対策と国の補助が措置されたことによる前倒し補正予算。

問

①雇用の拡大につながる栄町公住の建て替え工事の発注時期は。

②高齢化が進むなか、利便性の良い中心街への公住づくりの考え方は。

答

①21年度建設予定の1棟4戸を20年度内に工事発注したいと考えています。

②栄町公住と並行して、町なか団地をどう進めるか、民間の住宅も含めて検討しながら、平成25年度の着工を予定しています。

季節労働者雇用対策

国の事業による雇用対策として実施する錦町の旧ふるさと銀河線宿舎等の解体・撤去委託料389万円の補正に対する質疑。

問

解体工事の委託先の考え方と雇用の状況は。

答

事業は2月頃を予定し、委託は建設業協会と企業組合の協力を得て実施します。解体は、錦町の旧宿舎等11棟のうち、7棟を考えています。雇用は、延べ300人ほど予定し、1人当たり5万円程度を見込んでいます。



昨年実施した銀河線宿舎の解体工事

平成20年度 各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(1億5,187万6千円) 67億950万8千円	公営住宅建替事業 耐震補強工事 基金積立金
特別会計	(621万6千円) 13億6,699万9千円	健康管理センターボイラー更新工事 一般被保険者高額療養費
	(△9万3千円) 1億665万9千円	北海道後期高齢者医療広域連合 (事務費)負担金
	(△22万9千円) 7億654万1千円	電算業務委託料 介護相談員報償費
	(64万3千円) 2億4,737万1千円	燃料費 賃金
	(△2,153万7千円) 1億3,479万4千円	道営西美里別地区担い手畑営農用水 事業負担金
水道事業会計	(△408万6千円) 8億2,491万円	浄化槽新設工事請負費 水道管移設補償
水道事業会計	(△406万円) 2億3,311万6千円	量水器購入費
国保病院事業会計	(289万7千円) 15億907万8千円	臨時雇賃金 共済組合負担金

耐震補強工事

国の補助による前倒し事業で、本別中央小・中学校耐震補強工事等、8、128万円の補正に対する質疑。

問

①授業等に配慮した工事だと思つが、その内容と工期は。

②付帯工事の設計費用が補正額に計上されているか。
③この事業に対する国の補助率と耐震工事に係る関連工事の関係は。

答

①児童・生徒たちの授業や学校行事に支障

のないよう、土・日曜・祭日等を利用しながら、夏休み中に終了する考えです。
②付帯工事は、電動カーテン、防火扉などですが、職員が設計しましたので、委託料はかかりません。
③当初3分の1の国の補助から2分の1に、また、交付税算定率も良くなりました。さらに、耐震補強が必要な施設のリフォーム等にも補助が該当しますので、屋根の修繕工事・屋外取水管工事などを合わせて整備します。



耐震補強する本中体育館

議会の活性化等 調査特別委員会 を設置

本別町議会は議会の活性化、議員定数のあり方などを調査するための特別委員会を設置しました。

12月12日、議会の活性化等調査特別委員会設置に関する決議案を提出し、12月17日に開かれた第4回定例会において議決しました。

委員会は14名で構成し、本町議会の活性化と議員の定数及び報酬について総合的な調査研究を行います。委員長には高橋利勝議員、副委員長に方川一郎議員が選任されました。

意見書

定例会に提出された意見書案1件は原案通り可決され、内閣総理大臣ほか関係機関へ送付しました。

日本農業に打撃を与えるWTO交渉議長案を拒否し飢餓と環境問題解決に貢献する貿易ルールを求める意見書

12月6日、WTO「議長案」の重要品目の縮小などでは、北海道農業は壊滅状態になり、また、日本の食料自給率はさらに低下することが必至です。「議長案」を拒否し、各国が自給率の増などに努力することを強く求めます。

提出者 阿保静夫

可決

一般質問

5名の議員から6項目



行政・財政

平成21年度予算編成方針の考え方は
▼60億円をベースに少しでも前向きな予算編成を



戸田 徹議員

戸田議員 21年度の予算編成方針の基本的な考え方を伺います。

- ①平成19年度並みの60億円規模にする理由は。
- ②行財政改革を推進した成果の予算額への反映は。
- ③投資的経費の主な事業と新規の事業は。
- ④農業に関係する主な事業



まちづくり交付金事業での道路整備

と予算額は。

高橋町長 ①各課から提出される予算はこれからですが、投資的経費を含めたシミュレーションで60億円をベースに予算を作っていく考えです。少しでも前向きに編成をしていきます。

②昨年度に続き、行政改革推進計画の前倒しや事務事業評価の結果に基づいて、事業・政策を作成しています。

③栄町公営住宅の建設、学校の耐震補強工事、まちづくり交付金事業での道路整備、旧ふるさと銀河線の関連事業など。新規事業は、自立再生に向けて重要で緊急性があり、優先度の高いものを進めます。
④新規として、**畜産担い手育成総合整備事業**。継続事業は、農地・水・環境保全向上対策事業、土づくり奨励特別事業の助成などを行います。



福祉・保健

第一号被保険者の保険料は
▼現行より引き下げが可能と考えています



高橋利勝議員

高橋議員 来年度スタートとなります。第四期介護保険事業計画について伺います。

①第三期介護保険事業の総括と第四期介護保険事業計画の方針について。

②介護保険事業の基金積立金の活用方法は。

③介護報酬の引き上げに伴う介護従事員の待遇改善は。

④第一号被保険者の保険料の改正はどのようになるのか。

高橋町長 ①第三期介護保険事業では、「福祉でまちづくり」、「もの忘れ散歩のできるまち」が着実に推進してきたと受け止めています。また、第四期計画の策定に



介護保険の相談窓口（ケアセンター）

当たっては、今まで築き上げてきた町民力により、さらに充実させていきます。

②基金につきましては、各保険者に必要な額を除き、次期計画に歳入として繰り入れます。

③国の方針の具体的内容が一月以降に示されると考えておりますので、その動向を見ながら取り組みます。

④第一号被保険者の保険料は現行より引き下げが可能と考えています。

畜産担い手育成総合整備事業とは
大型機械による作業性の向上及び牧草収量の増加を図るため、牧草地の凹凸や傾斜を緩和し、排水の不良箇所には暗渠排水を行います。また、施設の整備も含め、平成21年から4年間実施する予定です。



ものづくり博士から

国保病院で『助産師による分娩』の可能性は

▼現状ではできません



目黒金次郎議員

目黒議員 少子高齢化対策としての『医療対策』について伺います。

① 18年度、19年度の本別町の出生数と自宅分娩数は。

② 産婦人科の救急搬送対策について。

③ 産婦人科の緊急医療対策について。

④ 国保病院で助産師分娩の可能性はあるか。

高橋町長 ① 18年度51件、19年度66件で自宅分娩はありませんでした。

② 産婦人科の救急搬送対策については、対応できる体制はできています。

③ 緊急医療対策については、正常分娩は対応できますが、異常分娩については対応できません。

④ 助産師分娩については現状ではできません。妊産婦の方は担当医と連絡を密にすべきと考えます。

目黒議員 産科医療補償制度を改善すべきでは。

高橋町長 新しくできた制度ですが、全ての障がい児に適応できるようにすべきで、政府に対し積極的に要望して参ります。



農 業

新たな鹿被害防止対策を

▼情報収集し、計画を立てるかどうかが検討します



阿保静夫議員

阿保議員 国の「鳥獣被害防止特措法」で対策を実施する自治体には、自治体負担の8割を特別交付税措置することなどが新たに加まりました。

このことから今年度、管内では新たに8市町村が鹿害などの被害防止計画を策定することです。

本町においても、鹿被害の増加から新たな被害防止計画の策定を検討すべきと考えますが、見解を伺います。

高橋町長 特別交付税で町負担の8割措置という事は何の通達もなく突然のことという実態もあります。しかし、すぐに手を挙げら

れるように計画の準備はしておこうとの考えで、情報収集をしつかりと行いながら計画策定について検討します。

一番被害の大きいのは鹿害ですから、特別交付税措置など本場に該当するのであれば、やれることは絶対やります。



町国保病院 救急入口



近年、数が増加しているエゾシカ



教 育

▼今後、教育委員会会議で審議し、予算に反映します 予算編成における教育予算は



佐川逸雄議員

佐川議員 二十一年度予算編成も一段と厳しさを増す中、未来を担う児童生徒の育成は大切な政策です。新年度教育予算について伺います。

支援について。(浦幌本町からの通学支援など)

澤田教育長 ①財政負担ができるだけ軽減されるよう、積極的な政策を講じたいと考えています。

浦幌本町からの通学の足は？

①少人数に対応できる学校づくりに対しての支援は。
②食材高騰における現状と新年度の学校給食の予算対応は。
③本別高校への通学

②現状は食材高騰などによりコストが増加し、既に不足額が見込まれており、新年度は一食当たり小学生が24円増、中学生が27円増で年間一人当たり小学生4,800円、中学生5,292円増額で、9年ぶりの改定を予定しています。
③本別高校に通う生徒に対し距離に応じた通学支援、旧銀河線代替バスの通学定期差額補助は次年度以降も実施を予定しております。浦幌本町からの通学については、今後早急に協議を進めていきたいと考えています。

▼今のところ公表する考えはありません 学ぶ楽しさ実感と学力テスト結果公表は

阿保議員 教育長は以前の議会答弁で「学力テストは課題の把握とその改善等のため。結果公表は町教育委員会や各学校の判断ですが、子ども・保護者の利益につながる公表は慎重にすべきと考える」と答弁をしています。

①道教育委員会の「学ぶ楽しさを実感させる」などの「6つの提言」に対する受け止め方は。

②道教委は学力テスト結果(正答率)を地域別に全道、全国平均との比較で発表しました。これ自体がルール違反と考えますが、本町教育委員会として結果公表についての考え方は。

澤田教育長 ①「6つの提言」は本町においても学校改善の具体的な取り組みに参考になるものと考えます。



中央小の地域参観日(11月)

また、「学びの日」「子どもを育む環境づくり推進会議」などの活動推進を図ります。
②結果の公表は、今のところ考えていません。
ただ、活用という部分では学校現場できちんとやっつけていかなければならないと考えます。

行政報告

12月9日の第4回定例会において、町長、教育委員長から行政報告がありました。
(抜粋)

町長

一般会計の予算執行状況

11月末現在の一般会計は、歳入が収入済額40億6,571万2千円で61.4%の執行率、歳出が支出済額35億8,274千円で53.0%の執行率となっております。

新年度予算編成方針

平成21年度以降も基金に多くを依存できない財政状況にあります。行政改革や事務事業評価による見直し、行政コストの徹底した削減を予算に反映し、歳入に見合った歳出をどう組み立てていくか、非常に厳しい予算編成になると考えています。

一般会計の予算規模は60億円程度を見込んでいますが、今後も厳しい中にも活力を見出せる、次の時代に希望の持てる施策など、健全な行財政の運営に努力していきます。

ふるさと銀河線旧駅舎と周辺整備の状況

平成20年度における事業の状況は、執行額1億5,062万6千円で88.9%の執行率です。内訳は、委託料が旧本別駅広場整備実設計ほか1件、工事請負費が町道北5丁目山手線通り道路改良舗装工事ほか9件、補償費が2件となっております。

なお、旧岡女堂駅周辺の駐車場は完成していますが、仮称観光情報センターの整備は来年度の計画で、供用開始は21年秋を予定しています。



旧岡女堂駅周辺の駐車場



内装工事のため仕切られたステラプラザ内

道の駅開設

運営母体であるNPO法人が既に北海道の認可を受け準備を進めています。町としても道の駅の名称を「ステラ★ほんべつ」と決定し、21年春オープンに向け、道の駅登録申請手続きを進めています。

関係機関と協議しながら慎重に進めていきます。

教育委員長

学校施設耐震補強工事の実施

本年度については、中央小の増築部分を除く校舎と第1体育館及び本中体育館の第3次診断を完了し、耐震補強工事の準備を進めています。国の耐震化の推進化に関する補正予算が成立したことから、前倒しで学校施設耐震補強工事を実施します。

前倒しのメリットは、修繕、配水管工事など補助対象が拡大することと合わせ、一般財源の持ち出しが大きく減少するものであります。なお、発注が冬期となるため、工事は翌年度に繰り越して実施する予定です。



耐震補強する中央小学校

行政視察研修

総務

常任委員会

調査日／平成20年10月28日～30日
〔石狩支庁管内 石狩市〕

防災対策について

地震が発生した場合にいち早く対応するため、震度5以上は自動的に災害対策本部を設置するとともに、



石狩市で防災対策について研修

震度6以上の場合は全職員が非常配備されます。職員は（一班6名程度）あらかじめ自分の受け持ち避難所が決められており、災害時には直接避難所に行き地域の情報を集め、本部に報告する事となっています。

自主防災組織は、1万9千788世帯中1万7千259世帯が組織され、組織率は87.2パーセントと高く、各自治会では、日頃より、防災資材セットを利用した訓練を頻繁に実施し、ビデオ上映や図上訓練も行われています。

災害時要支援者の避難支援については、安否確認を希望する方々から事前に登録申請を受け、市が支援に必要な情報を、あらかじめ各避難運営本部、各自治会、民生委員及び消防署に提供し、いざというときに備えています。登録者は、現在で884名となっています。

また、避難所運営マニュアルを作成し対応しています。

石狩市は、消防・警察・自衛隊・各周辺自治体と連携を図るとともに、食料等生活必需品の協力店、物資の輸送、建設機械・資材及び労力、医師の派遣、大型店舗駐車場の開放等、それぞれ協定が結ばれています。

まとめ

「災害は忘れた頃にやってくる」との、自然に対する脅威の意識をもつことが防災の原点であることから、日頃から防災に対する意識を高め、共有する取り組みが必要とされます。

「自主防災組織」が、いかに重要かは阪神淡路大震災（平成7年）の経験から明らかになっています。日頃からの訓練や施設整備を図っておくことも必要と思われま

このほか、胆振管内洞爺湖町で同じ項目について研修してきました。

産業厚生

常任委員会

調査日／平成20年11月11日～13日
〔上川支庁管内 美瑛町〕

新規就農者対策について

美瑛町での新規就農者受け入れは、農業支援センターと農協営農部が担当し研修から就農まで指導をします。

希望者は農家で短期（10日～1ヶ月）の農業研修を行ったあと、就農を目指す場合、500万円～1,000万円の自己資金があることを条件に指導計画に沿った長期農業研修（2年以上）を受けます。

農業は多額の自己資金を必要とするため、美瑛町では投資額が少ないハウストマト栽培を推奨しています。

町の助成金と貸付制度を合わせた700万円、自己資金500万円以上、合計1,200万円以上でハウストマト6棟（30a）、アスパラ50aなどの経営が可能で、この形態が受け入れ



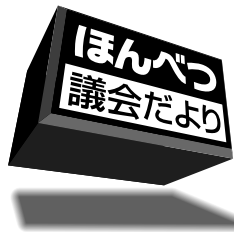
美瑛町で新規就農者対策について研修

られています。

平成15年から本年までの新規就農者は、新規学卒14人、Uターン29人、新規参入14人（内1法人）ですが、現在、東京の待機中希望者9人、23年に営農開始予定者は5人となっています。

まとめ

美瑛町では新規就農者のための研修寮を完備していること、2年以上の研修を受けなければ就農ができないこと、一定期間が過ぎなければ農地が自分のものにならないことが明記されて



議会運営委員会

います。
本町でも高齢化などによってリタイヤする人が出る傾向にあると思われることから、新規就農者の受け入れや後継者対策に力を注ぐことが望まれます。

このほか、当別町では、官民一体となったバス事業の取り組みについて、芽室町では堆肥センターを視察研修してきました。

調査日／平成20年11月5日～7日

〔胆振支庁管内 白老町〕

議会改革、通年議会及び議会活性化への特徴的な取り組みについて

1. 議会改革について

平成8年、民間委員による「行政改革推進委員会」



白老町で議会活性化の取り組みについて研修

を設置し、69項目の議会運営全般についての見直しの提起を受け、議会運営委員会にて協議を行い、平成12年に第一次から第三次までの具体的な実施計画が示されました。

2. 通年議会制について

調査や、検討が必要な案

件や緊急な対応が必要などに、いつでも議会開催、機能的な調査活動・委員会活動を可能とするため、1月に開会し、12月に閉会する形をとっています。

3. 議会活性化への特徴的な取り組みについて

議員全員による広報公聴常任委員会を設置し、その中で、広報紙づくりと、町民との懇談会担当に分かれ活動を行っています。

4. まとめ

本町議会においてもどうあるべきかまた、何をすべきか、問題点を明確にし、具体的計画を立てることが必要です。住民への説明責任を果たしながら「開かれた、信頼される議会」を目指して取り組んでいかなければなりません。

このほか、空知管内南幌町で同じ項目について研修してきました。

平成20年傍聴者数

	男	女	計
第1回定例会	20	20	40
(うちナイター議会)	(9)	(20)	(29)
第2回定例会	17	14	31
第3回定例会	11	9	20
第4回定例会	16	6	22
(定例会計)	64	49	113
第1回臨時会	2	0	2
第2回臨時会	1	0	1
(臨時会計)	3	0	3
予算審査特別委員会	4	5	9
決算審査特別委員会	2	0	2
(特別委員会計)	6	5	11
議会運営委員会	1	0	1
総務常任委員会	4	1	5
産業厚生常任委員会	5	0	5
(委員会計)	10	1	11
議員協議会	3	0	3
合 計	86	55	141

議会用語の解説

《監査委員》

監査委員は、自治体の財務に関する事務や、事業が適正かつ効果的、合理的、能率的に行われているかどうかを審査します。また、住民から監査の請求があった事務や事業が法令にしたがって正しく行われているかどうかを審査します。監査委員の監査結果の報告は、議会および町長、関係行政委員会に提出し、かつ公表しなければなりません。監査委員は町村長が議会の同意を得て選任します。法の定めによりその定数は町村では2人です。このうち、議員の中から1人を選ぶことになっています。本町では、例月出納検査、決算審査、定期監査などを行っています。



質問や答弁は
もつとわかりやすく



上本別 小池忠男さん

議会の傍聴は今回が3回目とおっしゃる上本別にお住まいの小池忠男さんにお話を伺いました。

議会を傍聴しての感想は、「毎回同じ人が質問しているように見受けられますが、他の人も積極的に質問してもらいたいですし、質問や答弁がもつとわかりやすく、的確に行われると傍聴者も理解しやすいですよね」「女性の傍聴者が比較的多いですね。もつと多くの人に傍聴してもらえらうように、町内会や各団体に呼びかける方法もあるのではないのでしょうかね」と。

また、「多くの議員さんに発言してもらおうためには、誰が何回発言したかを公表することもひとつの方法ではないですかね」とも話されました。

地方の人口減少や議員定数については「人口が減少していくことは淋しいですが、仕事がなければ仕事のある所に行かざるを得ないです。難しい面もあるでしょうが、この町に働く場所ができることが望ましいです」と。

「議員数は、ただ減らせればいいとは言えないですよ。必要以上に減らしてしまうと負担増になってしまいう場合もでてくるでしょうから、よく考えるべきですよ」とも。

小池さんは、高校を卒業して3年程他の仕事をした後、父親の後を継ぎ農業経営をする傍ら建設業に長年勤め平成17年に退職されました。

現在は、暇を見つけて仲間と行く釣りと温泉旅行が楽しみとのことでした。

議会日誌

〔 11 月 〕



- 5日～7日 議会運営委員会行政視察研修
(南幌町、白老町)
- 11日～13日 産業厚生常任委員会行政視察研修(美瑛町、当別町、芽室町)
- 17日 議会運営委員会
- 18日～20日 第52回町村議会議長全国大会および道外行政視察研修
(東京都、長野県木曾町)
- 28日 十勝圏複合事務組合議会第2回定例会(帯広市)
十勝環境複合事務組合議会第3回定例会(帯広市)
厚岸町議会来町

〔 12 月 〕



- 1日 議会運営委員会
- 3日～5日 中央陳情(東京都)
- 4日 議会運営委員会
- 5日 十勝議長会定例会(帯広市)
- 9日 第4回定例会開会、議員協議会
総務常任委員会、産業厚生常任委員会
議会運営委員会
- 12日 議会運営委員会
- 16日 本会議(一般質問)
- 17日 本会議(議案審議)
議会広報特別委員会
- 24日 池北三町行政事務組合議会(足寄町)

**3月定例会は3日から
ナイター議会は10日に
予定しています**

私たちの住むまちの議会です
どなたも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか

編集後記

▼2009年丑年の幕開けは穏やかな元日の朝でした。元日の朝は、神棚に今年一年の家の安全を願い、仏壇に向かい、ご先祖様のお陰で生活できている事に感謝の心をこめてお参りをすませてからお神酒をいただきました▼昨年は、中国製食品の農薬混入、事故米不正転売など、食の安全が問題になりました。米国のサブプライムローンに端を発した世界同時不況によつて、自動車製造の減産、派遣切りなど政治・経済の変化が激しい年でした。幸いにも、本町の基幹産業である農業は、比較的好天に恵まれ、概ね豊作でした▼景気の低迷で、税収の落ち込みが予想され、町財政も一段と厳しく、今年も課題の多い年であります▼これからも、議会と町民との橋渡しとして、議会活動を分かりやすく、親しまれる「議会だより」の発行に努めます。今年もよろしくお願ひします。

副委員長 山西二三夫

